

## 第18回北摂リーグ実施要領

### 1、ね ら い

- すべての子どもに出場機会を与え、年間の目標となるリーグ戦にする。
- レフリース技術の向上と新たなレフリースの育成を図る。

### 2、日 時

2023年3月5日（日）9：15～：16：30頃（開門8：30）

（開会式） 9：15～

（閉会式） 16：15～

### 3、場 所

駒ヶ谷運動公園 多目的グラウンド 兵庫県三田市ゆりのき台一丁目44番

### 4、実施要項（リーグ戦：幼児・小学生）

#### 運営規定

#### ① 出場

- 登録生徒は、1日4試合（1年生は5試合、2年生は6試合）のうち、必ず1試合は出場することを原則とする。  
※低20人・中28人・高36人を超える場合、ハーフの半分は出場すること。
- 学年の人数が不足する場合、下の学年から補充することとする。  
※他チームから支援された場合はオープン戦とするが、試合は行うこととする。

#### ② ルール

- ルールは兵庫県ラグビースクール連盟大会ミニラグビールールに準じる。
  - 但し、ルール適応学年は新学年とします。（4年生⇒9人制）
- \* 幼稚園、1・2年生はタグラグビーとする。

#### ③ 試合時間

- 全試合、北摂リーグ対戦表を参照。  
幼児・1・2年生タグは5分ハーフ、中・高学年7分ハーフとする。
- 選手交代は、得点時及びハーフタイム時に選手交代を認める。
- 時間内で同点の場合、引き分けとする。（ロスタイムなし）
- 試合後のあいさつは、コート外で行うこととする。

#### ④ 審判

- 主審は、対戦表を元に第3者チームが行う。ARは相互審判とする。（ARはタイムキープをし、得点を記録する）
- 主審は、得点と勝敗を記録し、本部に報告してすること。

- ・本部対戦表の結果は、本部にいる幹事チームが責任を持って記入すること。

#### ⑤順位、表彰

- ・順位はポイント制とし、「勝ちを2点」「引き分けを1点」「負けを0点」とする。
- ・4試合の合計勝点（1年生は5試合、2年生は6試合）をもって、順位を決する。
- ・勝点が並んだ場合、当該チーム同士の勝敗で順位を決する。
- ・当該チームが引き分けの場合、総得失点差が正で多いチームを上位とする。
- ・総得失点差も並んだ場合、同順位とする。2年はタグのみで順位を決定する。
- ・各学年に、優勝と準優勝のカップと賞状を贈呈する。（カップに各入賞チームはチーム名のタグを付けてお返し下さい。）

※カップは持ち回りとし、次年度の初めにレプリカを渡す。

#### 係分担

本	部：	・計時・記録・表彰状準備・テント、椅子、テーブル設営
研	修：	・審判技術のアドバイス
進	行：	・開会式司会・進行・計時
		＊別紙、係分担・対戦表を元に、式と全体の進行を把握。
審	判：	・対戦表参照
記	録：	・対戦表の準備・試合結果の記録・審判配当の掌握
会	場：	・ライン引き・用具の掌握
安	全：	・事故防止・事故対応・保護者指導

- ① 本部には、各チームから1名ずつ待機しておいてください。（交替しながらで可）
- ② 各チーム2～3名程度のお手伝いをお願いします。（各チーム、**チーム名記入の上カラーコーン**をたくさんお持ちください。）

#### 研修会

- ・本リーグ戦は、レフリー研修として位置付けています。特にレフリーを始めて間もない方やこれからレフリーを始められるような方に笛を吹いていただきたく思います。
- ・各試合終了後、各コートで必ずレフリーの反省を行うようにしてください。
- ・初めてレフリングされる方には、スタッフがアセッサーとして指導致します。

#### 諸注意

- ・**健康確認は「北摂リーグ交流会参加に係る健康確認書」を使用頂き、で各スクール・クラブ様での管理をお願いします。**
- ・**グラウンド入場時のアルコール消毒は各スクール・クラブ様でお願いします。**
- ・**公共施設**をお借りします。ゴミは各RS、RC、JRCで責任を持ってお持ち帰りください。（各RS、RC、JRCでゴミ袋をご用意ください。）

## その他

### ① 費用

- ・ 本年は余剰金があるため、不要です。（不足の場合は後日徴収する。）
- ・ 余剰の運営費は、庶務チームが管理することとします。

### ② 用具

- ・ 試合球など、必要な用具は各チームから持ち寄ることとします。

### ③ 医務、安全

- ・ メディカル関係は、各チームで責任をもって行ってください。
- ・ 緊急時は、救急担当病院で対応することとします。

### ③ 雨天時（実施の可否は、《川西市 RS 岡》より、6:30頃 に連絡致します。）

- ・ 当日が雨天予想で開催が困難であると判断された場合は、その年は中止とし、幹事は翌年に繰越とします。

## 開・閉会式

●開会式	司会	川西市 RS	・ 開会の言葉は、スクールで代表者を決めておいてください。
1 開会の言葉		北神戸RC	・ 選手宣誓の選手を決めておいてください。
2 カップ返還		三田RCJ	・ 全チーム整列して行います。
3 選手宣誓		宝塚RS6年	・ 入賞チームは2名ずつ表彰を受けます。
4 流れの説明		川西市 RS	・ 賞状の読み上げのあと、各学年一斉に賞状とカップを渡します。各チーム2名ずつコーチのお手伝いをお願いします。
●閉会式	司会	川西市 RS	
1 成績発表		西宮甲東JRC	
2 表彰（優勝）		宝塚RS	
3 表彰（準優勝）		北神戸RC	
4 講評		三田RCJ	

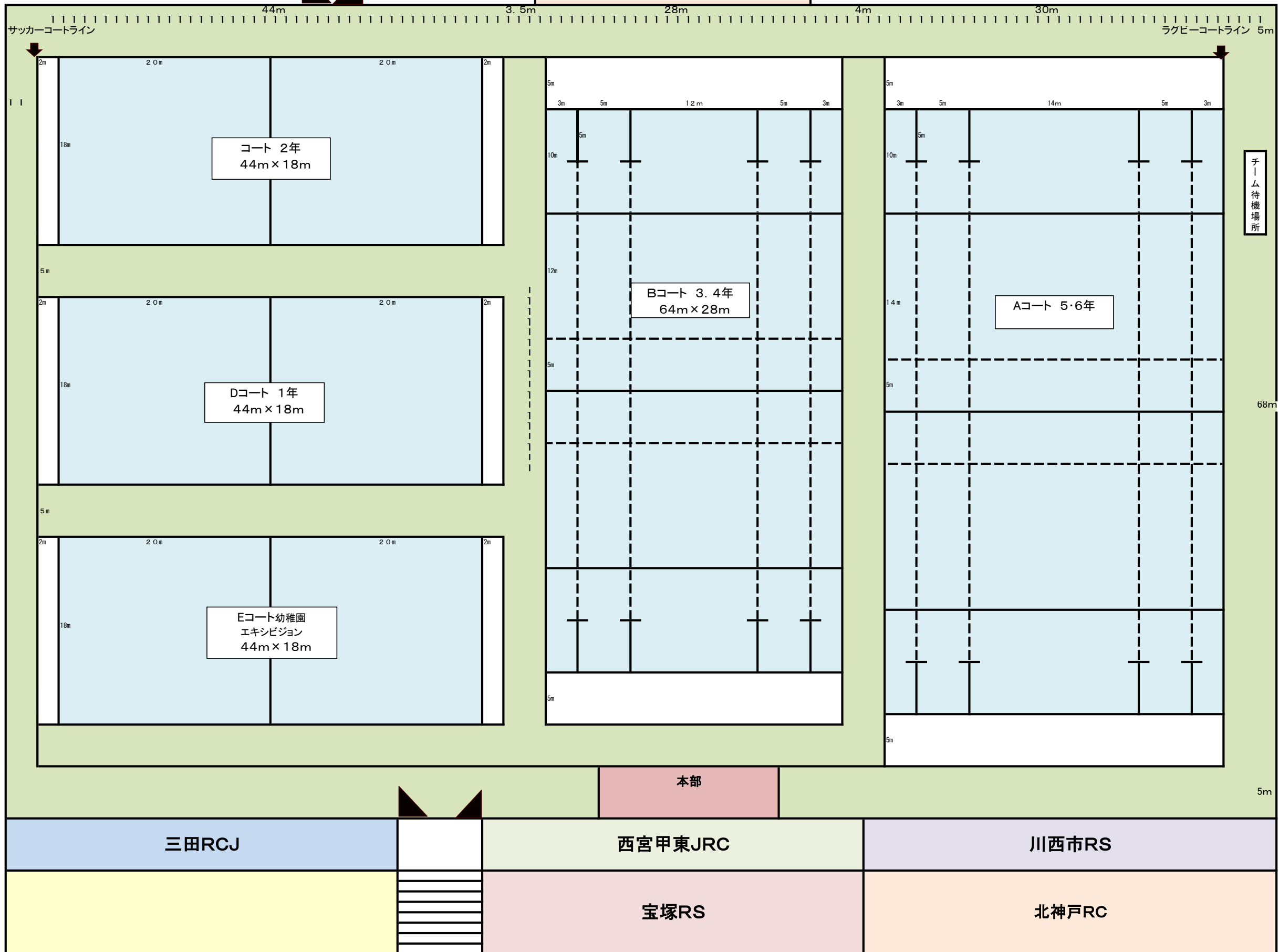
お手洗  
W C

出入口

土のグラウンド アップ場として使用

外周のネット部分に横断幕や旗など飾ってください。

ラグビーコート(114m×68m)  
サッカーコート(105m×68m)



2022年度 第18回北摂リーグ実施に関するガイドライン

北摂リーグ実行委員会

新型コロナの感染拡大が再拡大し、大変厳しい状態が続いています。

しかしながら皆様のご理解とご協力をいただき、選手にとって重要な活動となる交流試合を何とか、新型コロナ感染症が終息していることを願い実施したいと考えております。

選手の皆さんは今年度は新型コロナ感染症対策で交流試合の機会が少なく、スポーツによる人間形成の機会に恵まれなかったと考えます。

そのためにも、選手をはじめ参加者の安全を最優先し、協会と各参加チーム団体が協力して感染拡大防止に取り組むことで交流試合の開催が必要と考えます。

この趣旨をご理解いただき、交流試合にかかわる参加者全員で、本ガイドラインの事項を遵守していただきたいと思います。

大会名 第18回 北摂リーグ大会

開催日 2023年 3月5日（日）

開催場所 三田市駒ヶ谷運動公園人工芝グラウンド  
(三田市ゆりのき台1丁目44-44)

参加者 日本ラグビーフットボール協会に登録し、兵庫県スクール連盟に加入している選手

- ※ 当該府県の緊急事態宣言が発令されていないこと。また、当該府県の感染状況を十分に考慮する。
- ※ 当該府県の自治体からの自粛要請、教育委員会等からの休校措置、部活動制限の枠組みの中で実施する。
- ※ 日本ラグビーフットボール協会の感染防止対策に基づく対策を講じる。
- ※ 原則として、無観客の開催とする。  
(ただし生徒を車で引率していただいたご家族に限り、来場者健康状態確認書に必要事項を記入、署名をして承認された方は除く)
- ※ 主催者は、運営に関わる人数を最小限にする。
- ※ 参加チームは、選手、スタッフの人数を最小限にする。

# 交流試合実施時の感染防止ガイドラインチェックリスト（主催者向け①）

## 全般的な事項

- ☐ 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（会場の受付場所等）に掲示すること
- ☐ 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- ☐ 障がいのある方や高齢の方などの特性にも配慮すること
- ☐ 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者（参加チーム）より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも3週間以上）を定めて保存しておくこと
- ☐ 大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設等とあらかじめ検討しておくこと

## 主催大会参加募集時の対応

主催者が参加者（チーム）に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

- ☐ 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること（大会当日に書面で確認を行う）
  - ☐ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ☐ マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- ☐ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ☐ 他の参加者、大会関係者等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がいのある方の誘導や介助を行う場合を除く）
- ☐ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- ☐ 感染防止のために主催者側が決めたその他の措置の遵守、専門部の指示に従うこと
- ☐ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、専門部に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

## 当日の参加受付時の対応

- ☐ 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- ☐ 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することもあると考えられる）
- ☐ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽するなどの工夫をすること
- ☐ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- ☐ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- ☐ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を可能な限り避けるようにすること
- ☐ 当日の受付時は、混雑を極力避ける工夫を行うこと

### ☐ 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること（※）

- ☐ 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する
- ☐ 大会当日の体温
- ☐ 大会前2週間における以下の事項の有無
  - ☐ 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
  - ☐ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
  - ☐ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
  - ☐ 嗅覚や味覚の異常
  - ☐ 体が重く感じる、疲れやすい等
  - ☐ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
  - ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

#### （※）例

- 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）については監督手持ち（本部提出不要）とし、有事の際は本部に提出するよう求め、取り扱いに注意しながら活用する
- 当日の参加者を当該校顧問等が一覧にまとめ、チーム受付時に本部へ提出する。

## 交流試合実施時の感染防止ガイドラインチェックリスト（主催者向け②）

### 主催大会参加者への対応

#### □ マスク等の準備

- 参加者がマスクを準備しているか確認すること
- 参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）

#### □ 主催大会参加前後の留意事項

- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 大会メイン会場から遠く離れた場所で選手を招集（待機）させる場合は、その場所にできるだけ手洗い場を確保すること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること

#### □ 更衣室、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がいのある方の介助を行う場合を除く）
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをする

#### □ 洗面所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）



□ **飲食物の提供時（必要な場合のみ）**

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
- スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
- 食品については、提供方法を工夫すること
- 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること

□ **観客の管理（※）**

- 観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること
- 観客も参加させる場合には、感染者が発生した時に備え、大阪コロナ追跡システム（QRコード）を活用すること
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること

□ **大会会場**

- 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- 換気設備を適切に運転すること
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

□ **ゴミの廃棄**

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

（※）観客の参加の可否等について

○観客については、無観客開催を含めて検討し、いかなる場合においても事前の周知が必須。

本チェックリストはあくまで最低限の例示であり、各競技の特性等を勘案して、上記以外に感染拡大防止のための必要な取組みを適宜盛り込んでください。

## 交流試合実施時の感染防止ガイドラインチェックリスト（参加者向け）

### 参加者が遵守すべき事項

- ☐ 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）
  - ☐ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ☐ マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等の運動・スポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- ☐ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ☐ 他の参加者、大会関係者等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること（障がいのある方の誘導や介助を行う場合を除く）
- ☐ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- ☐ 感染防止のために専門部が決めたその他の措置の遵守、専門部の指示に従うこと
- ☐ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、専門部に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- ☐ 大会の前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

## 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

### ☐ 十分な距離の確保

- ☐ 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
- ☐ 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
- ☐ 水泳時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること  
（※）感染予防の観点からは、少なくとも 2 m の距離を空けることが適当である。

### ☐ 位置取り: 走る競技においては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること

### ☐ 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと

### ☐ タオルの共用はしないこと

### ☐ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること

### ☐ スポーツドリンク等の回し飲みはしないこと

### ☐ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと